

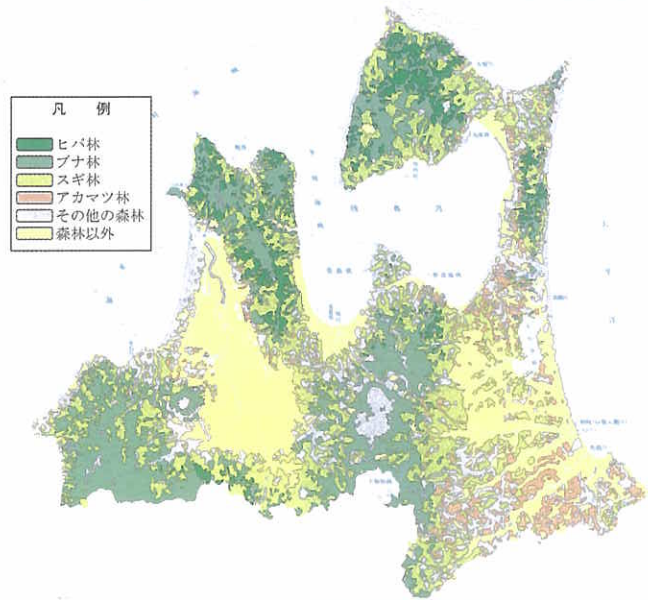


第3章 森林・林業の現状と課題

1 森林の現状と課題

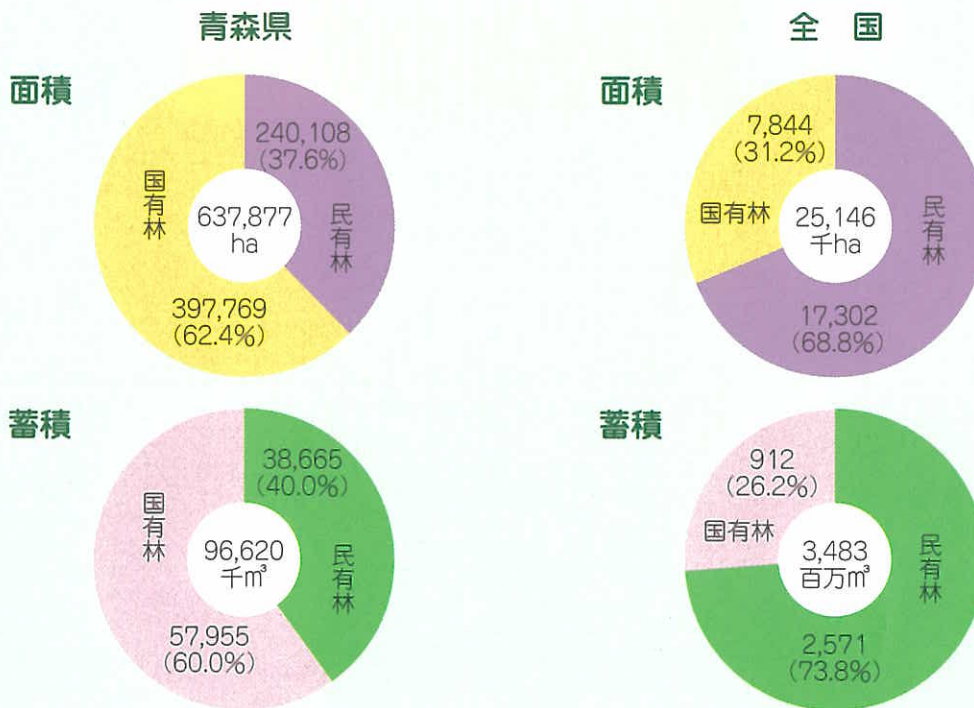
- 本県の森林は約64万haで、県土面積の66%を占めており、津軽・下北両半島のヒバ、秋田県境には世界自然遺産に登録されている白神山地や国立公園に指定されている八甲田山のブナ、県南地域にはアカマツなど、それぞれの地域に特徴的な樹種が分布しているほか、県内全域にスギが豊富に生育しています。
- 本県は、森林面積に占める国有林の割合が62%と全国一高く、県有林や市町村有林などを含め、公的な森林が約7割を占めています。

森林の分布



資料：青森県

森林面積・蓄積

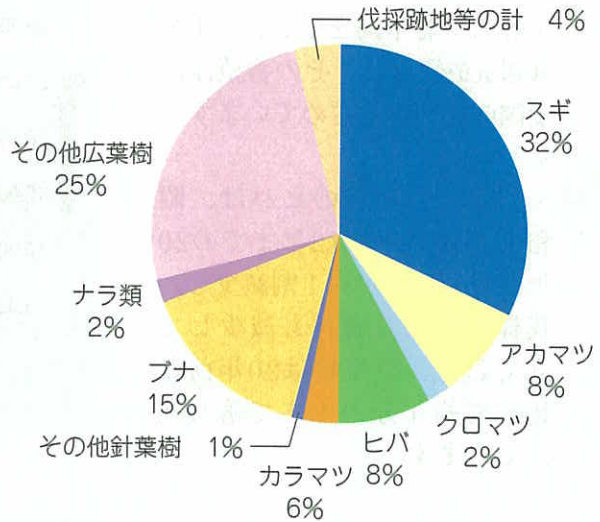


1 青森県は、平成13年4月青森県森林資源統計書による。 2 全国は、平成7年3月林野庁統計による。

樹種別面積 平成13年4月

(ha)

| 樹種 | 面積 |
|---------|---------|
| スギ | 200,553 |
| アカマツ | 49,484 |
| クロマツ | 14,572 |
| ヒバ | 52,635 |
| カラマツ | 22,290 |
| その他針葉樹 | 7,808 |
| ブナ | 92,738 |
| ナラ類 | 13,638 |
| その他広葉樹 | 159,324 |
| 伐採跡地等の計 | 24,835 |
| 合計 | 637,877 |

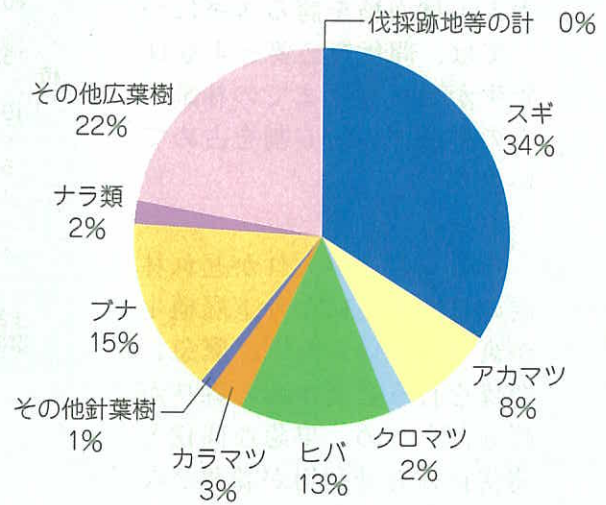


資料：青森県

樹種別蓄積 平成13年4月

(千m³)

| 樹種 | 蓄積 |
|---------|--------|
| スギ | 33,356 |
| アカマツ | 7,389 |
| クロマツ | 2,167 |
| ヒバ | 12,583 |
| カラマツ | 3,274 |
| その他針葉樹 | 914 |
| ブナ | 14,301 |
| ナラ類 | 1,560 |
| その他広葉樹 | 21,068 |
| 伐採跡地等の計 | 8 |
| 合計 | 96,620 |



資料：青森県



第3章 森林・林業の現状と課題

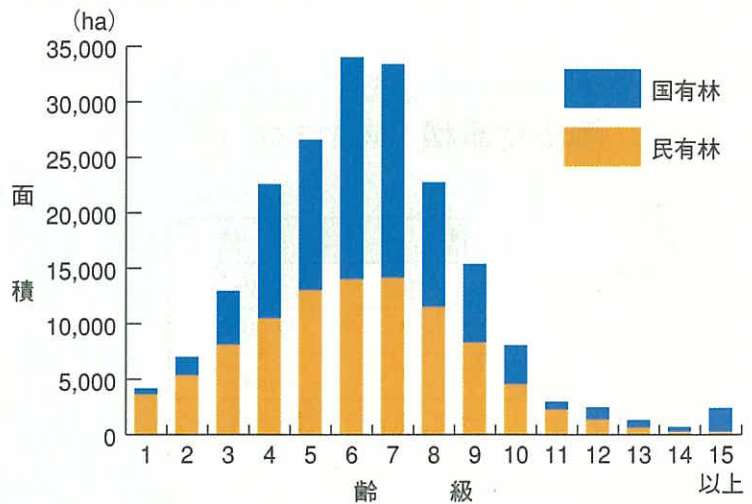
第3章

- 昭和41年に県木として指定されているヒバは、耐朽性、耐蟻性など優れた特性を持ち、本県の住宅資材としてのほか、古くから神社仏閣の建築材として全国的に利用されており、津軽・下北半島を中心に5万3,000haが分布し、その蓄積は、全国の約8割を占めています。
- しかし、天然のヒバは、昭和55年から平成12年までの20年間で蓄積量が約1割減少し、伐採可能な良質材も減少してきており、生産量は20年前と比べて約4分の1まで落ち込んでいます。
- 近年、民有林ではヒバの人工造林による資源造成の取組みが進んでいますが、施業技術の確立やコスト低減への取組みが課題となっています。
- また、20万haで全国第4位の人工林面積を誇るスギについては、間伐を必要とする16年生から35年生までの林齢のものが全体の約6割を占めています。
- そのうち、手入れが遅れ林内の日照不足により下層植生が衰退しているなど、緊急に間伐を行う必要がある森林が約5割を占め、早急な間伐と間伐材の有効利用が課題となっています。

樹種別蓄積量の推移

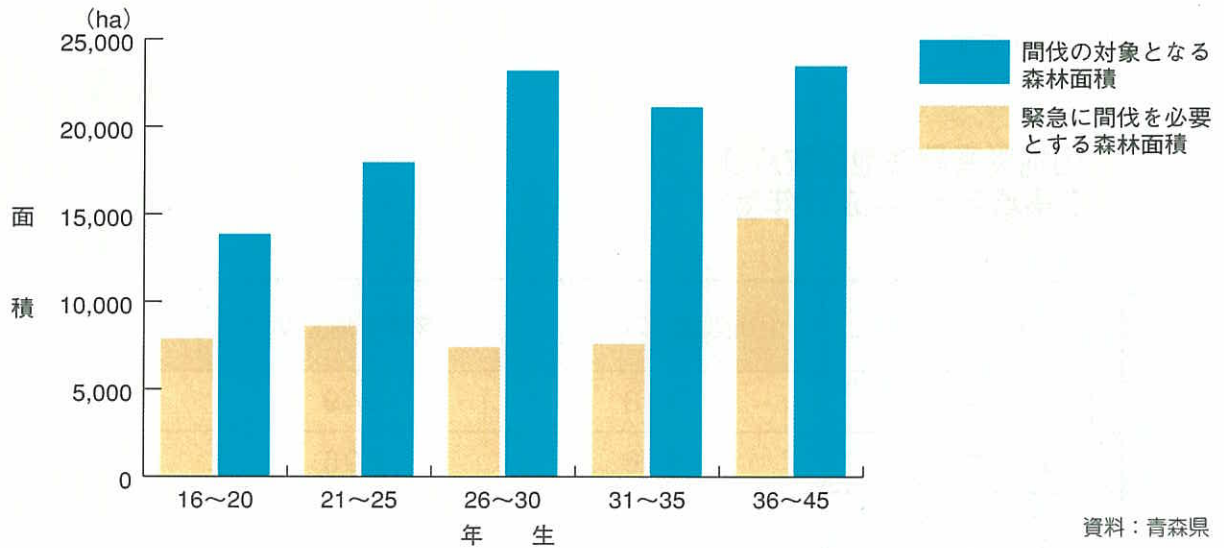


県内スギ人工林の林齢構成



※ 林齢：5ヶ年をひとくりにした森林の年齢
資料：民有林は森林資源統計書、国有林は東北森林管理局青森分極調べ。

緊急に間伐を必要とする面積



- 森林の公益的機能を発揮させる上で重要な森林については、計画的に保安林に指定しており、平成12年度までの指定面積は25万haで森林面積の39%を占め、東北・北海道では一番高い比率となっています。この保安林の機能を将来にわたり高度に発揮させていくため、適正な管理に努めていく必要があります。

保安林種別面積

| 区 分 | 国有林 | 民有林 | 合 計 |
|-------------|---------------------|-------------------|---------------------|
| 水源かん養保安林 | 164,334 | 25,717 | 190,061 |
| 土砂流出防備保安林 | (689) 27,101 | 15,636 | (689) 42,737 |
| 土砂崩壊防備保安林 | 719 | 143 | 862 |
| 飛砂防備保安林 | 0 | 1,998 | 1,998 |
| 防 風 保 安 林 | 2,045 | 3,236 | 5,281 |
| 潮害防備保安林 | 0 | 36 | 36 |
| 干害防備保安林 | 2,546 | 766 | 3,312 |
| なだれ防止保安林 | 99 | (3) 78 | (3) 177 |
| 落石防止保安林 | 0 | 8 | 8 |
| 防 火 保 安 林 | 0 | (5) 33 | (5) 33 |
| 魚 つ き 保 安 林 | 0 | (7) 0 | (7) 0 |
| 保 健 保 安 林 | (17,367) 4,406 | (6,170) 224 | (23,537) 4,630 |
| 風 致 保 安 林 | (103) 0 | (9) 59 | (112) 59 |
| 合 計 | (18,159) 201,260 | (6,194) 47,934 | (24,353) 249,194 |

()は、他の保安林と兼種で、外書きです。
資料：青森県（平成12年度末）



第3章 森林・林業の現状と課題

- また、土砂の流出や崩壊の危険性のある場所を山地災害危険地区として把握し、公表していますが、平成12年度時点で、国有林が546か所、民有林が2,313か所となっています。これら山地災害危険地区については、治山事業の計画的な実施などにより、災害の未然防止を図る必要があります。

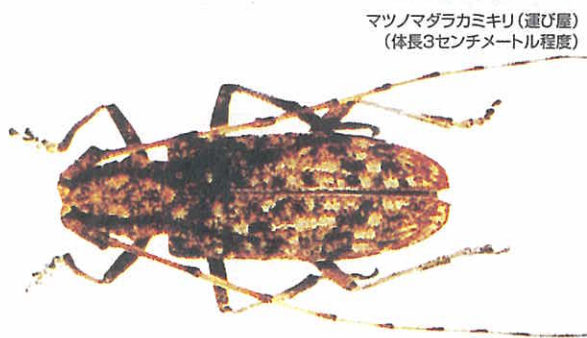
山地災害危険地区数及び 工事着手率(平成12年度)

| 区 分 | 山地災害危険地区 | 工事着手地区数 | 着手率 (%) |
|-------|----------|---------|---------|
| | | | |
| 民 有 林 | 2,313 | 949 | 41.0 |
| 国 有 林 | 546 | 305 | 55.9 |
| 総 数 | 2,859 | 1,254 | 43.9 |

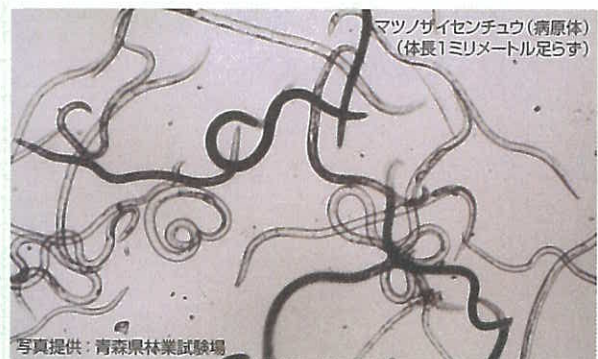
資料：青森県、東北森林管理局青森分局

- 松くい虫被害は、北海道と本県を除くすべての都府県で発生しており、本県でも平成7年に初めて媒介昆虫であるマツノマダラカミキリが捕獲されています。被害は、温暖化の影響などにより年々北上する傾向にあり、マツノマダラカミキリの繁殖源となるマツ枯損木の除去などの予防対策が必要です。

マツノマダラカミキリ



マツノザイセンチュウ

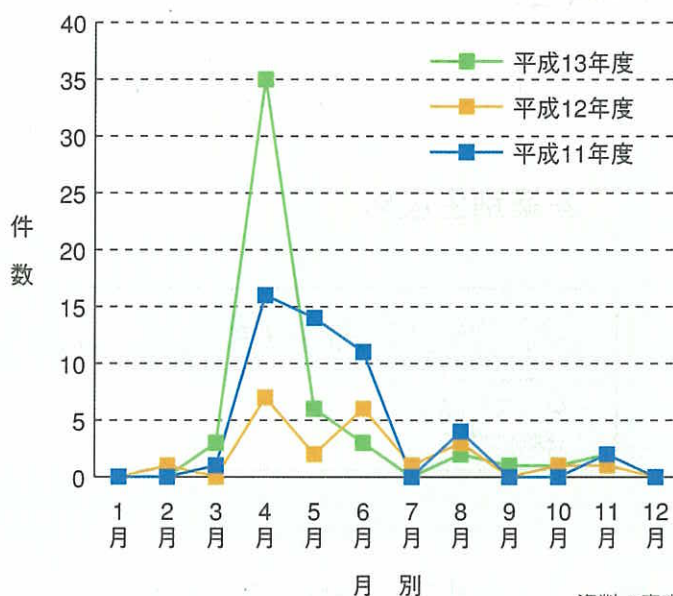


資料：青森県

- 松くい虫以外の森林病害虫についても、森林に重大な損害を与えるおそれがあるので、防除対策の徹底による健全な森林の育成を図っていく必要があります。

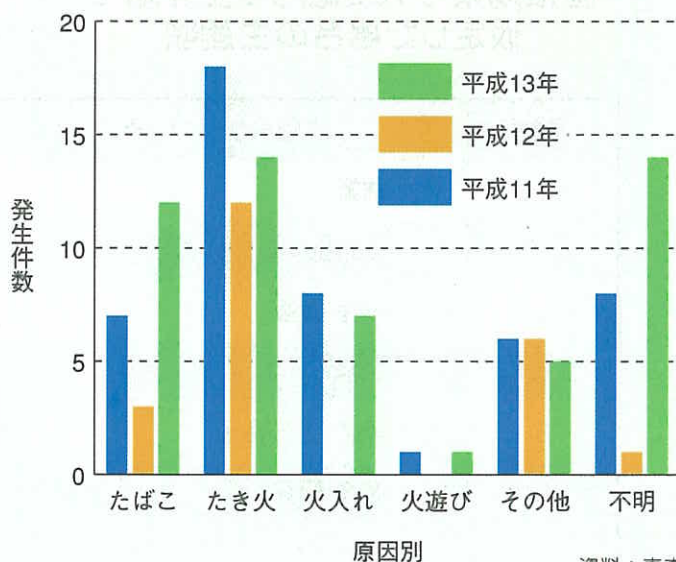
- また、一瞬にして貴重な森林を灰にしてしまう山火事は、時には人命をも奪うなど非常に危険であり、その原因の大半が人為的なものとなっていることから、県民の防火意識の向上を図っていくことが重要です。

月別山火事発生件数



資料：青森県

原因別火事発生件数



資料：青森県